

# 目次

## 1. 雙峰祭へのご案内

委員長挨拶 .....	2
雙峰祭の目的 .....	2
雙峰祭のテーマ .....	2
学園祭の日程 .....	4
環境配慮 .....	4

## 2. 昨年度からの変更点

大学会館屋内実施企画 .....	5
屋外企画実施時間 .....	5
アレルギー表示義務 .....	5
電力 .....	5

## 3. 参加区分

参加区分 .....	6
ステージ企画 .....	6
一般企画 .....	6

## 4. 企画参加条件

企画責任者 .....	10
副企画責任者 .....	10
ゲスト .....	10

## 5. 企画実施までの流れ

企画実施までの流れ .....	11
企画団体責任者連絡集会 .....	12

## 6. 屋内実施企画

企画実施時間 .....	13
企画実施場所一覧 .....	14
大学会館屋内実施企画 .....	15

## 7. 屋外実施企画

企画実施時間 .....	16
企画実施場所一覧 .....	18

## 8. 屋内・屋外共通事項

### (大学会館屋内実施企画を除く)

アレルギー品目表示 .....	19
調理 .....	19

## 9. 全企画共通の事項

禁止事項 .....	22
酒類の取扱い .....	23
火気の取扱い .....	23
電力 .....	23
宣伝活動 .....	24
協賛 .....	25
無線機 .....	26
企画団体物品支給制度 .....	27

## 10. 委員会開催企画概要

つくば研究紹介(仮) .....	30
雙峰祭グランプリ 2017(仮) .....	31
つくバラエティー(仮) .....	32

## 11. 企画登録

募集期間 .....	33
企画登録方法 .....	33
企画登録後の変更・参加辞退 .....	33
企画募集説明会 .....	34
企画登録後の申請一覧 .....	34

## 12. その他

大学からの承認 .....	35
プライバシーポリシー .....	35

## 13. 雙峰祭オンラインシステム

登録方法 .....	36
お問い合わせ先 .....	37

# 1. 雙峰祭のご案内

## 委員長挨拶

筑波大学学園祭「雙峰祭」は今年で 43 回目を迎えます。今回の雙峰祭ではこれまでにない新しい色を盛り込んだ雙峰祭を創り上げるために、学園祭実行委員一同一層努力してまいります。

雙峰祭は毎年 3 万人以上の方々が全国各地から来場する、関東でも有数の規模を誇る学園祭です。雙峰祭では日本各地からはもちろん、世界各地からも人々が集まる筑波大学の特色を活かしたユニークな企画が数多く行われます。また、幅広い学問分野を有する筑波大学ならではの企画として、学術系や芸術系の展示・発表も行われています。これらをはじめとした約 400 の多様な企画が雙峰祭を盛り上げていきます。このように、学園祭で筑波大学ならではの特色を最大限に活かすとともに、広く発信していきたいと強く思っています。

私は、雙峰祭は普段の学生生活で得た知識や経験を発揮する場であり、普段の生活ではできないことができる場でもあると思います。自分が所属していないサークル等の団体や学類・研究室等が行う企画を見て、今まで自分が知らなかった活動がこの筑波大学にあると感じることができ、そのことが学生生活にいい影響を与えるのではないかと考えています。

雙峰祭は、学園祭実行委員だけで創り上げることはできません。今回の雙峰祭を今まで以上のものとするため、学園祭実行委員一同、サポートしていきますので、皆様ご協力よろしくお願いいたします。

平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会 委員長 田辺 飛鷹

## 雙峰祭の目的

平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会(以下、学実委)は、今年度の雙峰祭の目的を以下のように掲げ、学園祭の運営を行います。

**筑波大学は日本各地、ひいては全世界から人が集まる大学であるとともに、多様な学問分野を有する日本有数の国立総合大学である。**

**筑波大学学園祭は、これらの特色を生かした筑波大学らしい多彩な企画や、様々な分野の発表を通じ、つくば市を中心に本学の魅力を広く発信することを目的とする。**

## 雙峰祭のテーマ

### テーマ案投票について

学実委では平成 27 年度より全学を対象としたテーマ公募・テーマ案投票を実施しています。テーマを全学的に決定することで雙峰祭の周知及び意識向上を行うことを目的としています。

今年度はテーマ投票の実施期間が大幅に変更されています。ふるって投票に参加していただくようお願いいたします。

## 公募において選出されたテーマ案

先日実施されたテーマ公募でいただいたテーマ案の中から、以下の5つがテーマ案投票へ選出されました。

- ☐ TsukuHarvest
- ☐ ツクバ、マンテン。
- ☐ 破筑
- ☐ 筑波日和
- ☐ 楽しもう。一寸先の未来。

## 投票方法

以下のいずれかの方法で投票することができます。

- ☐ 学園祭実行委員会室(1C204)前、図書館情報学図書館、医学図書館、体育・芸術図書館、中央図書館の計5か所に設置する投票用紙に必要事項を記入し、投票箱に入れる
  - ☐ 以下のQRコードから、Web上のテーマ投票特設フォームにアクセスし、必要事項を入力し、送信する
- ※ QRコードは各エリアに設置されているポスター・大看板にも掲載されている

テーマ案投票特設フォーム：<http://ur0.link/Cxid>



## 投票期間

**4月24日(月)～4月30日(日)**

## 投票終了後の流れ

学実委で集計後、5月5日(金)にTwitter・Facebookにて結果を公表します。

## 学園祭の日程

今年度の学園祭は以下の日程で開催します。

11月3日(金)  
準備日・前夜祭

11月4日(土)  
本祭1日目

11月5日(日)  
本祭2日目

11月6日(月)  
片付け日

## 環境配慮

学実委は会場内を清潔に保ち、来場者の方や企画団体の皆様にとって心地よい環境を提供したいと考えています。そして、構内環境だけではなく地球環境にも配慮し、エコ食器使用の推奨やごみの分別の徹底といった活動を行っています。

そのため、企画団体の皆様にも、学園祭当日における来場者の方へのごみの分別指導・トイレの清掃・水道の見回り等の美化シフトへのご協力をお願いしています。

## 2.昨年度からの変更点

### 大学会館屋内実施企画(p.15 参照)

昨年度は大学会館屋内を使用する全ての企画団体にステージ組合に参加していただきました。今年度は、**大学会館屋内を含め、全ての一般企画団体は企画団体責任者連絡集会(p.12 参照)に参加していただきます。**そのため、大学会館屋内の会議室等を使用する一般企画団体は企画団体責任者連絡集会、ステージ企画団体は昨年度と同様に、ステージ組合に参加していただきます。

### 屋外企画実施時間(p.16-17 参照)

第二・第三エリア及び体芸エリアにおける屋外実施企画の企画実施時間に変更があります。  
以下の表をご確認ください。準備時間・撤収時間等は、昨年度と変更がありません。

	昨年度	今年度
前夜祭(第二・第三エリア)	15:30～20:00	<b>15:00～20:00</b>
本祭2日目(体芸エリア)	10:00～16:00	10:00～ <b>16:30</b>

### アレルギー品目表示義務(p.19 参照)

来場者の方に販売・配布する飲食物の安全性をより高めるため、今年度からは**飲食物を取り扱う全ての企画団体**に対して、取り扱う飲食物に含まれるアレルギー品目の使用申請・表示を義務付けます。

表示を義務付ける品目は特定原材料7品目とされている「**乳・卵・小麦・そば・落花生・カニ・エビ**」です。

#### 調理を行わない企画の飲食物取扱い

昨年度までは調理を行う企画のみを対象として飲食物の品目申請をしていただきましたが、物品販売・配布として**未開封の飲食物を取り扱う調理を行わない企画**にも品目の申請をしていただきます。

### 電力(p.23-24 参照)

昨年度は第一エリア学群棟屋内にて企画を実施する場合に限り、使用電力の上限を 2500W としていましたが、今年度は全ての屋内実施企画における使用電力の上限を **1600W** とします。

### 3.参加区分

#### 参加区分

学実委では参加区分を以下のように分類します。

ステージ企画	UNITED ステージ・松美芝生・大学会館(講堂・ホール)を使用する企画
一般企画	ステージ企画に該当しない企画(一般企画学術参加枠・芸術祭参加枠を含む)

#### ステージ企画

ステージ企画についての詳細は「ステージ企画用募集要項」をご覧ください。

#### 一般企画

##### 企画実施場所

	調理 (p.19-21 参照)	火気(p.23 参 照)の使用	雨天時の 企画実施	前夜祭の 企画実施	飲食物取扱い (p.19 参照)
屋内	○	×	○	×	○
大学会館屋内	×	×	○	×	×
屋外	○	○	△(※1)	△(※2)	○

※1 雨天時及び強風時は調理・調理品の販売・配布不可

※2 前夜祭は第二・第三エリアでのみ実施

##### 一般企画学術参加枠(以下、学術参加枠)

学術参加枠とは、本学(大学院含む)において平素より行われている研究等の学術的活動に関連した企画のうち、企画登録から学園祭当日の運営までを各自で行う企画のことです。来場者の方に向けて本学の学術性を発信するとともに、研究の魅力を伝えることを目的としています。

サークル・研究室だけではなく、自主ゼミ等による団体のご応募もお待ちしています。展示物等を用いた簡易的な発表の場として参加いただける委員会開催企画「つくば研究紹介(仮)」(p.30 参照)もご確認の上、ふるってご応募ください。

本学ならではの学術性に富んだ企画のご応募をお待ちしています。

## 学術参加枠に対する優遇

---

学術参加枠として参加する企画に対し、学実委は以下のように優遇します。

- 企画団体責任者連絡集会(p.12 参照)出席義務の免除
  - ※ 第1回・第8回は出席義務がある
  - ※ 調理を行う企画団体は全ての回(第9回を除く)に出席義務がある
- 企画実施日程の調整・企画実施場所の希望における優先
- 学実委による雙峰祭公式 Web サイト・パンフレット等での企画の宣伝(つくラボ計画)
- 美化シフトの免除
  - ※ やむを得ない場合にはこの限りではない

## つくラボ計画

---

学実委では学術参加枠・委員会開催企画学術部門をまとめて「つくラボ」と呼んでいます。一昨年度より学園祭に参加する学術的な内容の企画を一括りにすることで、本学の学術性をアピールするための広報活動を強化していく「つくラボ計画」を実施してきました。今年度も引き続き「つくラボ計画」を実施し、広報活動の強化を目指していきます。以下に掲載したつくラボのマークが目印です。つくラボの1つである「つくば研究紹介(仮)」(p.30 参照)もご確認ください。



## 一般企画芸術祭参加枠(以下、芸術祭参加枠)

---

学園祭期間中に、体芸エリア(5C 棟・6A 棟・6B 棟及びその周辺)にて行われる企画の中で、芸術祭実行委員会により、とりまとめられたものが「芸術祭参加枠」となります。

## 芸術祭

---

「芸術祭」は雙峰祭の1つの企画として、芸術祭実行委員会が認めた企画によって開催されます。日々の活動による成果の発表・展示・販売が行われます。

## 芸術祭実行委員会

---

芸術祭実行委員会とは、芸術祭の企画・運営・管理を行う組織です。主な業務内容として、企画内容の考案・実施、ポスター・パンフレット等の広報物の作成、サイン計画、会場装飾、渉外活動があります。

## 芸術祭の意義

---

- 芸術系の企画をとりまとめ、芸術系組織としての特色を出す
- 芸術活動を行う学生による作品展示の機会を設け、日頃の制作活動の成果を披露する
- 受験生が芸術系組織の活動や学生生活について知る機会になる

## 応募条件

---

芸術祭参加枠に参加する企画は以下の条件を満たしている必要があります。

- 芸術祭の意義に沿った企画であること
- 企画構成員が以下に該当すること
  - 芸術専門学群生
  - 大学院生(人間総合科学研究科芸術専攻)
  - 芸術専門学群教員
  - 芸術専門学群・人間総合科学研究科芸術専攻卒業生をゲストとして含む、本学に認められた学生団体
  - 芸術専門学群生以外の構成員も含む学生団体

場合によっては芸術祭参加枠に参加できない可能性もあります。詳細は、芸術祭実行委員会が行う説明会でご説明します。また、**卒業生はゲスト(p.10 参照)での参加**となり、申請をしていただく必要があります。

## 参加方法

---

企画登録の際、雙峰祭オンラインシステムにて「芸術祭参加枠での参加」の「はい」を選択してください。参加を希望した企画には、芸術祭実行委員会に対して企画内容の詳細を別途提出していただきます。

## 芸術祭参加枠に参加を希望する企画団体へのお願い

---

芸術祭参加枠への参加が認められた場合、学実委は「**企画名・企画団体名・企画責任者名・企画責任者のメールアドレス**」を**芸術祭実行委員会に提出します**。芸術祭実行委員会と綿密な連絡を取っていただくためです。これに同意いただける企画団体のみ芸術祭参加枠での参加を希望してください。

芸術祭参加枠に参加を希望する企画団体には、企画団体責任者連絡集会に加えて芸術祭実行委員会が行う説明会にも参加していただきます。

- ※ 調理を行わない学術参加枠の企画団体は企画団体責任者連絡集会に出席する義務がない(第1回・第8回は出席義務がある)

## 芸術祭における展示企画

---

各専攻・コース(領域)ごとの展示企画は、全て学術参加枠にも申請していただきます。学術参加枠に対する優遇措置(p.7 参照)も同様に実施します。



### 芸術祭参加枠に対する優遇

---

- ☐ 雙峰祭パンフレットとは別に、芸術祭パンフレットでも宣伝可能
- ☐ パーテーション等装飾に関するものを借用可能

### お問い合わせ先

---

芸術祭について質問等ありましたら、以下の芸術祭実行委員会のメールアドレスまでご連絡ください。

**geijutsu2017@gmail.com**

## 4.企画参加条件

企画は以下の条件を満たしている必要があります。

- ☐ 企画責任者・副企画責任者を立てる
- ☐ 企画団体の構成員が**本学(大学院を含む)の学生・教職員・ゲスト**(下記参照)のみで成り立っている
  - ※ ゲストのみによる企画実施は不可
- ☐ 学術参加枠(p.6-7 参照)に参加を希望する場合、その内容が企画団体の学術的活動に関わるものである
- ☐ 芸術祭参加枠(p.7-9 参照)に参加を希望する場合、芸術祭参加枠の応募条件に合うものである

### 企画責任者

企画団体には**必ず**企画責任者を立てていただきます。企画責任者は以下の条件を**全て**満たしている必要があります。

- ☐ 本学の学生または教職員である
- ☐ 学園祭当日を含め、電話・メールで確実に連絡を取ることができる
- ☐ 他の企画団体の企画責任者ではない
  - ※ 他の企画団体の副企画責任者を兼任することは可
- ☐ 企画団体責任者連絡集会(p.12 参照)に企画団体の代表として出席できる

### 副企画責任者

学実委が企画団体と確実に連絡を取ることができるようにするため、企画責任者だけではなく、副企画責任者も**必ず**立てていただきます。副企画責任者は以下の条件を**全て**満たしている必要があります。

- ☐ 本学の学生または教職員である
- ☐ 学園祭当日を含め、電話・メールで確実に連絡を取ることができる
- ☐ 自企画団体の企画責任者ではない

企画責任者が教職員である場合、必ず副企画責任者に学生の方を立ててください。主にその副企画責任者に連絡させていただきます。

### ゲスト

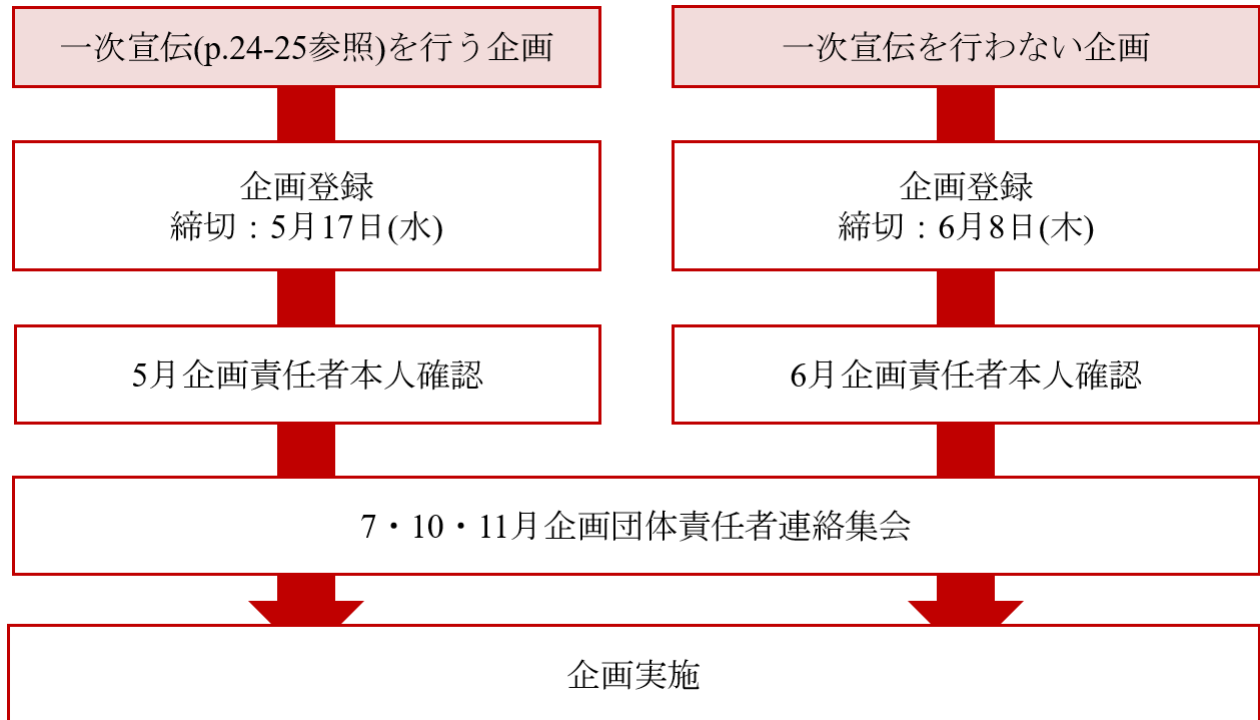
学実委では、学園祭における「ゲスト」を以下のように定義します。

#### 本学の学生・教職員以外で、企画の運営に携わる個人・団体

**ゲストのみで企画を実施することはできません。**ゲストがステージに出演することはできますが、調理(p.19 参照)・物品販売・金銭授受等を行うことはできません。ゲストを呼ぶ場合、企画登録の際に雙峰祭オンラインシステムにて「ゲスト有り」を選択してください。ゲスト有りの企画団体には、後日実施する企画責任者本人確認(p.11 参照)の際、詳細を確認します。

## 5.企画実施までの流れ

### 企画実施までの流れ



### 企画責任者本人確認

企画責任者が本学の学生または教職員であることを確認します。

企画責任者が学生である場合、企画責任者本人に学園祭実行委員会室(1C204)にお越しいただき、学生証の提示・企画基本情報の確認をします。学術参加枠の企画団体は企画内容が平素の学術的活動に関連していることも確認します。教職員である場合、メールにて確認します。

日程については後日ご連絡します。

## 企画団体責任者連絡集会(以下、企団連)

学実委から企画団体に対して重要事項の連絡及び必要資料の配付・回収を行います。企画責任者は毎回出席してください。企画責任者が出席できない場合、必ず代理人を立てるか事前に学実委までご連絡ください。

なお、**企団連を累計 3 回欠席した場合または提出・登録の締切を累計 2 回遅れた場合、企画中止等の対応を取らせていただきます。**

※ 調理(p.19 参照)を行わない学術参加枠の企画団体は参加する必要はない(第 1 回・第 8 回は出席義務がある)

### 第 1 回企団連

【日時】 7 月 4 日(火) 18:30～

【場所】 1H101(予定)：調理を行う企画

1H201(予定)：調理を行わない企画(調理を行わないが、飲食物を取り扱う企画を含む)

### 企画実施場所・企画実施日程決定

全ての企画が実施できるように調整するため、申請された企画数が企画実施可能区画数を上回った場合、第 1 回企団連終了後に企画実施場所・企画実施日程についての抽選を行います。企画実施場所・企画実施日程は、雙峰祭オンラインシステムにて申請された内容と抽選結果をもとに、学実委が決定します。

抽選結果によっては企画実施場所・企画実施日程等がご希望に添えない場合があります。

### 第 2 回～第 9 回企団連

詳細につきましては、第 1 回企団連にてご連絡します。

【日程】

第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
7 月 11 日	10 月 3 日	10 月 10 日	10 月 17 日	10 月 24 日	10 月 31 日	11 月 3 日	11 月 7 日

※ 第 8 回は学園祭準備日の午前中に行う

※ 第 9 回は任意参加

【場所】 1H101・1H201(予定)

## 6.屋内実施企画

屋内実施を希望する企画団体は企画登録の際、雙峰祭オンラインシステムの「**企画実施場所**」で「屋内」を選択してください。雙峰祭オンラインシステム上では大音量を出すか、控室(企画実施教室以外に控室として利用する教室)の使用の有無、固定教室(1H201 等の机と椅子が固定されていて動かさない教室)での企画実施の可否等について回答していただきます。その他、ご要望がありましたら「特記事項」にその旨を記入してください。

※ 要望が通らない場合もある

### 企画実施時間

準備日：11月3日(金)

	10:00	11:00	……	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
第二・第三	準備							撤収		
第一	準備							撤収		
会館	準備						撤収			
体芸	準備							撤収		

本祭1日目：11月4日(土)

	10:00	11:00	……	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
第二・第三	企画実施時間(10:00～19:00)							撤収		
第一	企画実施時間(10:00～19:00)							撤収		
会館	企画実施時間(10:00～18:00)						撤収			
体芸	企画実施時間(10:00～19:00)							撤収		

## 本祭 2 日目 : 11 月 5 日(日)

	10:00	11:00	.....	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
第二・第三	企画実施時間(10:00～17:00)					撤収				
第一	企画実施時間(10:00～17:00)					撤収				
会館	企画実施時間(10:00～17:00)					撤収				
体芸	企画実施時間(10:00～16:00)				撤収					

## 企画実施場所一覧

### 第二・第三エリア

2A 棟・2B 棟・2C 棟・2D 棟・2E 棟・2H 棟

3A 棟・3B 棟

### 第一エリア

1B 棟・1C 棟・1D 棟・1E 棟・1H 棟

### 大学会館エリア

会議室等

### 体芸エリア

5C 棟・6A 棟・6B 棟・体芸食堂

### その他の場所

第二・第三エリア、第一エリア、大学会館エリア、体芸エリア以外の企画実施場所を希望する企画団体は個別に対応しますので、ご相談ください。例年使用されている場所として、総合研究棟 B・開学記念館等があります。

## 大学会館屋内実施企画

大学会館屋内で実施する一般企画団体は、大学会館の会議室等を使用していただきます。なお、今年度は他の一般企画団体と同様に**企団連(p.12 参照)のみに出席していただきます**。

大学会館を使用する場合、「筑波大学大学会館規定」「筑波大学大学会館の利用に関する要項」「筑波大学大学会館利用心得」に従っていただきます。飲食は禁止されていますので、調理品や飲食物の販売・配布及び調理はできません。大学会館屋内で行われるステージ企画との兼ね合いのため、大音量を出す企画団体は大学会館屋内の会議室等を使用できません。

ホールや講堂を使用したステージ企画を検討している場合、「ステージ企画用募集要項」をご覧ください。

## 7.屋外実施企画

屋外ではテント内や建物の軒下等で企画を実施していただきます。**雨天時・強風時には屋外での調理及び調理品の販売・配布を行うことはできません。**屋内であれば雨天時・強風時でも調理・調理品の販売・配布を行うことができます。

屋外実施を希望する企画団体は企画登録の際、雙峰祭オンラインシステムにて「**企画実施希望場所**」で「屋外」を選択してください。また、演奏・合唱等の大音量を出す企画は「大音量申請」を、発電機を使用する企画は「発電機申請」を行ってください。

屋内実施を希望する企画団体が少数だった場合、屋外実施を希望する企画団体のうち屋内実施への変更が可能であると学実委が判断した企画団体に対し、**屋内実施企画への変更をお願いする場合があります。**また、屋外実施を希望する企画団体の数が実施可能な企画数を超えた場合、抽選により企画内容に関わらず屋内実施企画へ変更していただく場合があります。

### 企画実施時間

#### 準備日・前夜祭：11月3日(金)

	10:00	11:00	……	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
第二・第三	準備			企画実施時間(15:00～20:00)					撤収	
第一	準備								撤収	
会館	準備								撤収	
体芸	準備								撤収	

#### 本祭1日目：11月4日(土)

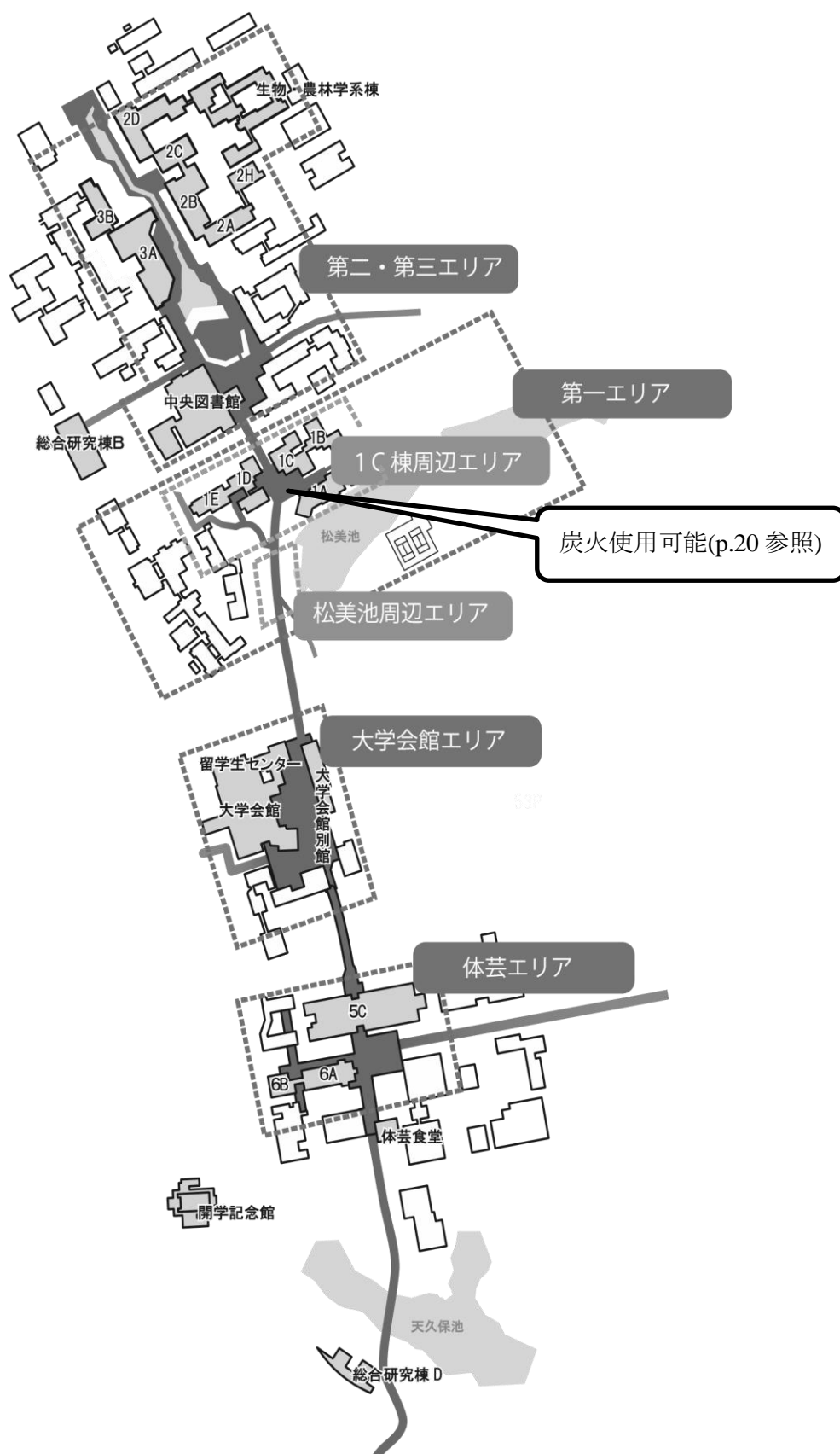
	10:00	11:00	……	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
第二・第三	企画実施時間(10:00～20:00)								撤収	
第一	企画実施時間(10:00～20:00)								撤収	
会館	企画実施時間(10:00～19:00)							撤収		
体芸	企画実施時間(10:00～19:00)							撤収		



**本祭 2 日目 : 11 月 5 日(日)**

	10:00	11:00	……	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
第二・第三	企画実施時間(10:00～19:00)							撤収		
第一	企画実施時間(10:00～18:00)						撤収			
会館	企画実施時間(10:00～16:30)				撤収					
体芸	企画実施時間(10:00～16:30)				撤収					

## 企画実施場所一覧



## 8.屋内・屋外共通事項 (大学会館屋内実施企画を除く)

### アレルギー品目表示

近年、特定の食物が原因でアレルギー症状を起こす人が増えているため、飲食物中のアレルギー物質に関する正確な情報の提供が必要とされています。そのため、**飲食物を取り扱う全ての企画団体にアレルギー品目の表示を義務付けます**。表示を義務付ける品目は、特定原材料 7 品目とされている「**乳・卵・小麦・そば・落花生・カニ・エビ**」です。

### 調理を行わない企画の飲食物取扱い

調理を行わない企画が飲食物を取り扱う場合(※)でも、取り扱う飲食物の品目申請とアレルギー品目の申請を行っていただきます。

※ 未開封の飲食物の販売・配布を行う場合

### 調理

#### 調理の定義

学実委では、学園祭における「調理」を以下のように定義します。

**来場者に飲食物を販売・配布するまでに、それらを空気に触れさせるまたは加工すること**

したがって、以下のような行為も全て「調理」とみなします。

- ☐ 飲み物を容器に注ぐ
- ☐ お菓子等包装された既製品を開封する
- ☐ 飲食物を加熱する
- ☐ 食材を用いて、料理を作る

よって、包装された既製品を仕入れてそのまま空気に触れないように販売・配布する場合、「調理」には該当しません。ただし、「飲食物取扱い」には該当します。

## 飲食物衛生

保健所の指導に基づき、学実委では企画団体が学園祭で調理を行う際、衛生管理に関して以下の対応を取ります。

### 調理を行う際の注意事項

- ☐ 企画実施日以外の調理の禁止
- ☐ 指定場所以外での調理の禁止
- ☐ 既製品を加工せずに販売・配布する場合を除き、調理工程の最後に加熱を行う
- ☐ 調理を行う際、調理者 ID カード(p.21 参照)・三角巾・エプロンを必ず着用する
- ☐ 屋内でミキサーを使用する場合は 3 台以上、シェイカーは 6 台以上を用意して調理を行う
- ☐ 特定の調理品・調理方法の禁止

衛生上の観点から以下の調理品・調理方法は、保健所より禁止されています。

**太字の項目が昨年度からの変更点となっていますので、ご注意ください。**

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| ● おにぎり(おにぎらずを含む)  | ● もちつき                     |
| ● <b>スムージー</b>    | ● <b>屋外でのミキサー・シェイカーの使用</b> |
| ● いなり寿司           | ● 来場者の方による調理品の加工           |
| ● サンドイッチ          | (そば打ち体験等)                  |
| ● 非加熱調理品(サラダ・刺身等) |                            |

調理を行う場所・調理方法について保健所が衛生上問題あると判断した場合、学実委と協議の上でそれらの変更を求めます。この際、企画実施の許可ができない可能性があります。

### 屋内で調理を行う際の注意事項

- ☐ 以下の条件を全て満たした調理のみ許可する
  - 火気(p.23 参照)を使わない(IH 調理器やホットプレートで代用)
  - 煙を出さない
  - 強いにおいを出さない
- ☐ 調理用電気機器の電力使用量には制限がある(p.23-24 参照)

### 屋外で調理を行う際の注意事項

- ☐ 最終加熱及び飲食物の販売・配布はテント内または軒下で行う
- ☐ 学実委が雨天時・強風時と判断した場合、調理及び調理品の販売・配布を中断する

### 炭火の使用

炭火を使用できる企画実施場所は、**1C 棟周辺エリアのみ**です。炭火の使用を希望する企画団体は、**炭火講習会に出席する必要があります。**

〈炭火講習会〉

【日時】 6 月 14 日(水) 18:30～

【場所】 1C210(予定)

## 調理を行う場合の流れ

---

### 調理品目の決定

---

具体的な調理品目を雙峰祭オンラインシステムにて申請してください。

禁止となっている調理品・調理方法に該当するものでも、保健所との協議により調理実施許可が下りる場合がありますのでご相談ください。

**締切：6月15日(木)**

### 各種書類の提出

---

保菌検査(検便)や保健所等へ提出する各種書類は、企団連にて学実委で一括して配付・回収を行います。決められた期日までに必ず提出してください。

保菌検査で陰性だった方にのみ、調理者 ID カードを企団連にて配付します。調理を行う際、同時にお渡しするネームプレートに調理者 ID カードと学生証のコピーを入れ、必ず見えるように身に付けてください。

## 9.全企画共通の事項

### 禁止事項

安全で円滑な学園祭の運営のため、今年度の学園祭では以下の行為を禁止します。必ずご確認ください。なお、禁止事項の詳細と補足につきましては、第1回企団連(p.12 参照)の資料にて説明します。

これらを遵守していただけない企画団体に対して、企画中止等の対応を取る場合があります。なお、企画中止になった際に生じる損失について、学実委では一切の責任を負いません。

#### 全般

- ☐ 公序良俗に反すること
- ☐ 教育活動の場である大学の気風・環境を損ねる行為
- ☐ 特定の政党や宗教の支持・批判
- ☐ 設備や備品の破損・紛失
- ☐ 団体や組織への勧誘
- ☐ 募金活動
- ☐ 学実委の許可のない外部団体の売名行為
- ☐ 誹謗中傷を含む企画団体名・企画名・企画内容
- ☐ ゲストのみによる企画運営
- ☐ 本学の学生・教職員またはゲスト以外の企画への参加
- ☐ 移動販売(持ち運びながらの販売)
- ☐ デリバリー行為
- ☐ 申請外の協賛を受けること
- ☐ 申請外の無線機の使用(p.26 参照)
- ☐ 調理目的以外の火気の使用
- ☐ 申請外の電力の使用
- ☐ 会場内の規制区域への許可のない車(自動車・自転車・バイク・リアカー等)での侵入
- ☐ 学園祭の安全かつ円滑な運営に支障をきたすと学実委が判断した行為

#### 酒類の取扱い(p.23 参照)

- ☐ 会場内への申請外の酒類の持込
- ☐ 来場者への酒類の販売・配布
- ☐ 酒気を帯びた状態での企画運営
- ☐ 酒類申請にあった用途以外での酒類の取扱い
- ☐ 会場内での申請外の酒類の使用を誤認させる行為

#### 調理(p.19-21 参照)

- ☐ 調理者 ID を取得していない者の調理
- ☐ 学実委が指定した日時以外での調理
- ☐ 指定場所以外での調理
- ☐ 申請外の炭火の使用
- ☐ 雨天時・強風時であると学実委が判断した際の屋外での調理・販売
- ☐ 保健所提出書類に記載のない食材の使用

#### 宣伝活動(p.24-25 参照)

- ☐ 学実委の許可のない宣伝活動(ビラの配布・掲示物・Twitter 等の Web 上での広報等)
- ☐ 他の企画団体・来場者・大学関係者等の迷惑となる宣伝活動
- ☐ 大学構内の建物や所有物品等品等を破損または汚損する可能性のある宣伝活動

## 酒類の取扱い

学実委では、**申請外の酒類の持込・取扱い、来場者への酒類の販売・配布、酒気を帯びた状態での企画運営、またそれらを誤認させる行為**を禁止します。

酒類について事前に登録した場合でも、調理品を販売・配布する際、アルコール分を完全にとばす必要があります。ノンアルコール類(甘酒等も含む)についても事前許可が必要です。判別の目安については以下をご参照ください。

酒類	アルコール分1度以上のもの	<b>登録必要</b>
ノンアルコール類	アルコール分1度未満のもの	<b>登録必要</b>
その他	アルコール分0度のもの	登録不要

## 火気の取扱い

今年度の学園祭では、火気について以下のような制限を設けています。

屋内実施企画	禁止
屋外実施企画	調理以外の用途での火気の使用を原則禁止

ただし、学生生活課との協議の上、条件付きで使用を許可する場合があります。例外的な使用を希望する場合、企画登録の際に雙峰祭オンラインシステムの「特記事項」にその旨を記入してください。

## 電力

供給可能な電力には限りがあります。学園祭当日使用される電気機器を事前に申請していただきますが、申請された全ての機器の使用を許可できるとは限りません。

### 屋内実施企画における電力使用

屋内実施企画については1つの企画で使える電力量の上限を**1600W**とします。例年、学生会館では電力の申請を行っていませんでしたが、今年度からは電気機器を使用する場合、申請が必要です。

### 大電力の使用

1つの企画で上限を超える電力量を使用する可能性のある場合、企画登録の際に雙峰祭オンラインシステムにて「**大電力申請**」を行い、現時点で把握できる範囲で電力使用量を「特記事項」に記入してください。なお、ここで記入された電力の使用を全て許可できるとは限りません。

## 屋外実施企画における電力使用

1 つの企画につき **400W** を超える電力量の使用は供給可能な電力量の関係上、原則として**認めません**。使用する電気機器が 1 つであってもその電気機器が **400W** を超える場合は使用できません(例：電子レンジ・IH 調理器・炊飯器等)。また、供給可能な電力が不足している場合、電力の使用量が **400W** 未満であっても使用を許可できない場合があります。なお、炊飯器については保温機能のみの使用に限り許可できる場合があります。

## 暖房機器の使用

供給可能な電力の関係上、屋内・屋外ともに暖房機器は使用できません。また、教室に備え付けであるエアコンは使用できません。ただし、企画実施に必要であると学実委が判断した場合のみ、使用を許可できる場合があります。使用を希望する場合は「特記事項」にご記入の上、ご相談ください。

## 発電機の使用

発電機は火気にあたるため、**屋内での使用は禁止**です。屋外実施企画についても、使用を許可できない場合があります。発電機の使用を希望する場合、企画登録の際に双峰祭オンラインシステムにて「**発電機申請**」を行ってください。

## 最大消費電力(電力量)の例

過去に申請のあった電気機器の電力量の一例です。使用電力を申請する際、実際に使用する電気機器の電力量をご確認の上、申請してください。なお、ここに記載してある電気機器であっても使用を許可できない場合があります。

電子レンジ	電気ポット	炊飯器	冷蔵庫
900W	1000W	600W(保温 50W)	500W

## 宣伝活動

企画団体が宣伝活動を行う場合、事前の申請・許可が必要です。学実委は円滑な学園祭の運営のために宣伝活動に規制を設けています。

## 宣伝活動の定義

学実委では、今年度の学園祭における「宣伝活動」を以下のように定義します。

**企画団体が企画に関する情報を何らかの媒体を通して学内外に発信し、これを不特定多数に周知させること**



## 宣伝の区分

企画の宣伝には一次宣伝・二次宣伝・当日宣伝の3つの区分があり、それぞれ宣伝可能な期間・内容・申請期間が異なります。行いたい宣伝の区分ごとに申請をしてください。詳細は企団連にてご連絡します。

### 一次宣伝(8月から可能な宣伝活動)

【申請期間】 7月4日(火)～7月18日(火)

【実施期間】 8月1日(火)～10月下旬

※ 一次宣伝を行う企画は5月17日(水)までに企画登録を行っている必要がある

### 二次宣伝(学園祭開始のおよそ1週間前から可能な宣伝活動)

【申請期間】 10月上旬～11月2日(木)

【実施期間】 10月末頃～11月2日(木)

### 当日宣伝(学園祭期間中に可能な宣伝活動)

【申請期間】 10月上旬～11月5日(日)

【実施期間】 11月3日(金)～11月5日(日)

## 広報宣伝における禁止事項

企画の宣伝活動を行うにあたり以下の行為を禁止します。違反が見つかった場合、注意・撤去の対象となります。また、以下の事柄に該当しない内容でも学実委が不適切と判断した場合、注意・撤去の対象となります。

- ☐ 公序良俗に反すること
- ☐ 申請した期間外に宣伝活動を行うこと
- ☐ 学実委の許可を受けていない宣伝活動を行うこと
- ☐ 学実委が定めた規定に従わないこと

## 協賛

学実委では、「協賛」を以下のように定義します。

**企画団体が外部団体(企業等)からの援助を受けるかわりにその外部団体の宣伝活動を行うこと**

さらに、以下の2つに区別して規制します。

### 金銭協賛

**企画団体が外部団体から金銭的援助を受けるかわりにその外部団体の宣伝活動を行うことを金銭協賛とします。**

全ての企画団体において、外部団体から金銭協賛を受けることは**全面禁止**とします。

## 物品協賛

**企画団体が外部団体から物的援助を受けるかわりにその外部団体の宣伝活動を行うことを物品協賛とします。**物品協賛を受ける企画団体は企画登録の際、雙峰祭オンラインシステムにて「物品協賛の有無」の欄の「あり」にチェックをしてください。申請外の物品協賛を受けた場合、企画中止等の対応を取らせていただきます。

物品協賛を受ける場合、宣伝活動の方法を学実委が規制する場合があります。詳細は企団連にてご連絡します。

また、学実委が企画団体に対して物品協賛を受けることを許可するまで、外部団体から物品協賛を受けることに合意しないようお願いします。

## 無線機

学園祭の運営上、学実委は無線機・無線マイク等の通信機器を使用します。学実委と企画団体の間で混線が発生する恐れがあるため、申請外の無線機の使用を禁止します。無線機の使用申請については企団連にてご連絡します。

## 企画団体物品支給制度(以下、企団給)

### 目的

学園祭に参加する企画団体に無償で物品を支給し、企画の質を高める援助をすることを通して、多くの来場者の方に対して多彩な企画に興味を持ってもらい、学園祭を盛り上げることを目的とします。

### 全企画対象

#### 物品

物品名	サイズ	上限
角材	30mm×40mm×2000mm	2 本
ベニヤ板	910mm×1820mm	2 枚
模造紙 白色 4 枚入	1091mm×788mm	3 セット
クリーム色 3 枚入	1091mm×788mm	3 セット
桃色 3 枚入	1091mm×788mm	3 セット
緑色 3 枚入	1091mm×788mm	3 セット
水色 3 枚入	1091mm×788mm	3 セット
リサイクル PPC 用紙 500 枚入	A4	2 セット
	B4	2 セット
	B5	2 セット
オフィス用紙カラー イエロー	A4	20 枚
オレンジ	A4	20 枚
オレンジ	B5	20 枚
厚口カラー用紙 うぐいす	B4	20 枚
プラスチックダンボール (白)	910mm×1820mm	2 枚
PP ロープ	5mm×30m	2 巻き

#### 日程

【申請受付】 6 月 30 日(金)～10 月 4 日(水)

【支給】 10 月 21 日(土)・10 月 28 日(土)

学実委の予算の関係により、受付の締切を早める可能性があります。

#### 申請方法

雙峰祭オンラインシステムにて申請してください。

## 金銭授受を行わない企画対象

---

### 物品

---

画材・文房具(tools・ユーズ画材で取り扱っている物品・インクカートリッジ)

### 日程

---

【申請受付】	6月30日(金)～7月12日(水)
【面談】	7月13日(木)～7月18日(火)
【支給】	8月5日(土)・8月6日(日)

### 追加申請日程

---

【追加申請受付】	8月7日(月)～9月29日(金)
【追加面談】	9月30日(土)・10月1日(日)
【追加支給】	10月28日(土)・10月29日(日)

### 申請方法

---

5月1日(月)より tools・ユーズ画材の2店舗に置いてある「企団給申請書」を利用して申請してください。その他の店舗での申請はできません。

申請の手順は以下の通りです。

- ① 店舗で商品を選び、お店の方に企団給申請書の「メーカー名・商品名・型番・単価」の欄への記入をお願いしてください。
- ② 企団給申請書を受け取った後、物品のリストに誤りがないことを確認し、必要事項を記入してください。
- ③ 申請期間内に学園祭実行委員会室(1C204)または第1回・第2回企団連(p.12 参照)終了後の企団給ブースにて提出してください。その際、面談の日程を決定しますので、企画責任者がご自身の予定を把握できるものをお持ちの上、お越しください。

#### 【インクカートリッジの申請】

第1回・第2回企団連終了後、企団給ブースにて申請を受け付けます。「メーカー名・型番・品名・個数」をご確認の上、企団給ブースへお越しください。

## 面談

---

面談では以下の事項を確認します。

- ☐ 企画が金銭授受を行わない企画であること
- ☐ 申請された物品を企画実施または企画実施準備のために使用すること
- ☐ 申請された物品の用途が明確であること
- ☐ 申請数が過剰でないこと
- ☐ 支給期間内に必ず受け取りに来ることができること

## 注意事項

---

希望された物品全てを支給できるとは限りません。学実委の予算を超えた場合、各企画団体に支給する物品の数を調整し、雙峰祭オンラインシステムにてその旨をお伝えします。

支給の際、全ての物品を一度で運んでいただくため、人員・移動手段の準備が必要です。

## 10.委員会開催企画概要

### つくば研究紹介(仮)

#### 企画概要

学外・学内の研究機関の活動を紹介する委員会開催企画です。参加団体の展示物を1か所に集めて実験・実演を行うことができます。学術参加枠(p.6-7 参照)と比べ、手軽に発表できるものとなっております。展示物の管理は学実委が行うため、必ずしも参加団体の担当者が企画実施場所にとどまっていただく必要はありません。今年度からは学外の一般企業の研究の参加も募集しています。

#### 学術参加枠との違い

- ☐ 委員会開催企画として主に学実委が宣伝を行う
- ☐ 会場設営・展示物管理等の当日スタッフは学実委が担う
  - ※ 展示内容は参加団体が責任をもつ
- ☐ 必ずしも企画実施場所に参加団体の方がとどまる必要がない
- ☐ 委員会開催企画「雙峰祭グランプリ 2017(仮)」への参加ができない
- ☐ 企団給(p.27-29 参照)の受給不可

#### 応募方法

メールにて応募していただきます。「参加団体名・代表者氏名・発表内容の概要・連絡先・その他質問等」を記載の上、**6月1日(木) 23:59**までに以下のメールアドレスまでご連絡ください。

**info@sohosai.com**

#### 注意事項

- ☐ 連絡方法は主にメール
- ☐ つくば研究紹介(仮)の企画実施場所は第三エリア教室を予定
  - ※ 確定次第メールにて連絡
- ☐ 参加希望団体数が規定数を超えた場合、抽選・調整を行う場合がある

### 企画概要

学園祭に参加する全ての企画の中で、来場者の方からの支持を集めた企画を表彰する委員会開催企画です。第2回企団連(p.12 参照)で本企画の詳細な説明をします。

参加を希望する場合、企画登録の際に雙峰祭オンラインシステムにて3つの部門(下記参照)から選択し、参加申請をしてください。参加を希望しない場合、「参加を希望しない」を選択してください。

### 企画詳細

- 販売部門・学術部門・パフォーマンス部門の3つから選択
- 学園祭当日、来場者の方に投票してもらう
- 後夜祭にて表彰式を開催し、賞品の授与を行う
  - 得票数が上位の企画のうち、各部門でそれぞれ優秀賞・敢闘賞を選出し、表彰する

### 部門紹介

参加を希望する場合、この3つの部門から必ず選択してください。

- 販売部門 : 調理・物品販売を行う企画
- 学術部門 : 展示・発表・プレゼン等の学術的な企画
- パフォーマンス部門 : パフォーマンス・演奏を行う企画

### 殿堂入りシステム

殿堂入りシステムは今年度より新たに導入したシステムです。

2年間連続で優秀賞を受賞した企画団体を殿堂入りとし、その企画団体には殿堂入り賞を授与、また副賞として、次年度の学園祭に同一団体かつ類似した内容で参加していただいた場合、広報宣伝において優遇します。ただし、この年度の雙峰祭グランプリへの参加を辞退していただくようお願いします。その翌年度からは再び参加が可能となります

本システムを通し、今年度より学実委が殿堂入りとなった企画団体に対し、雙峰祭ならではの企画として推し出していきたいと考えています。

1回目優秀賞  
受賞年

2回目優秀賞受賞・  
殿堂入り賞受賞年

参加辞退年

参加可能年

質問等がありましたら以下のメールアドレスまでご連絡ください。

[info@sohosai.com](mailto:info@sohosai.com)

## つくバラエティー(仮)

### 企画概要

前夜祭中に UNITED ステージにてクイズや大喜利等のお題にチームごとに組みんでいただく委員会開催企画です。より正解数が多いチームやユーモアにあふれた回答をしたチームに高いポイントを与え、順位を決定します。上位チームには豪華賞品を贈呈します。

参加資格があるのは学園祭に参加する全ての企画団体に属する本学学生です。ふるってご応募ください。応募方法等の詳細については第1回企団連(p.12 参照)にてご説明します。また、定員を超えた場合、学実委の審査のもと、参加団体を決定します。

※ 1つの企画団体において1チームのみ出場可

※ 企画を出していない有志団体の参加は不可

### 応募方法

メールにて応募していただきます。「企画番号・企画名・企画団体名・企画番号・参加する代表者の氏名・連絡先・その他質問等」を記載の上、**7月18日(火) 23:59**までに以下のメールアドレスまでご連絡ください。

**info@sohosai.com**



## 11.企画登録

### 募集期間

#### 【募集開始】

**5 月 1 日(月) 13:00**

#### 【募集締切】

一次宣伝(p.24-25 参照)を希望する企画

**5 月 17 日(水) 20:00**

その他の企画

**6 月 8 日(木) 20:00**

※ 締切後の企画登録は一切受け付けない

### 企画登録方法

雙峰祭オンラインシステム(p.36-37 参照)にて企画登録を行っていただきます。

### 企画登録後の変更・参加辞退

企画登録後の変更・参加辞退は、メール(裏表紙を参照)にて受け付けます。ただし、変更内容や変更時期によっては受け付けることができない場合があります。

登録内容の変更を希望する場合、「企画番号・企画名・企画団体名・企画責任者名・登録を変更する旨・変更したい内容」を、参加を辞退したい場合、「企画番号・企画名・企画団体名・企画責任者名・企画を中止する旨」をご連絡ください。学実委からの連絡をもって、手続き完了となります。

## 企画募集説明会

学実委が本冊子の要点や企画登録までの流れ、学園祭当日の実際の様子等をご説明します。この集会への参加は任意となりますが、ぜひお越しください。

参加の際、**一般企画用募集要項(本冊子)**をお持ちください。

### 日時・場所

【日時】 5月9日(火) 18:30～(予定)

【場所】 説明会 : 1H101

質問ブース : 1H201

※ 本冊子の内容について質問があれば、質問ブースで対応

## 企画登録後の申請一覧

第1回企団連(p.12 参照)までに申請が必要なものは以下の通りです。

申請名	締切	概要
調理品目申請	6月15日(木)	調理品目は何か(調理を行う企画対象)
炭火申請	7月上旬	炭火を使用するか 炭火講習会(p.20 参照)参加後に申請可能となります

## 12.その他

### 大学からの承認

企画を承認するにあたって、企画情報を学実委から全学学類・専門学群代表者会議(以下、全代会)及び大学に提出する必要があります。以下のことをご理解ください。

- ☐ 提出された企画内容について、企画責任者または副企画責任者に確認する場合がある
- ☐ 全代会または大学から企画内容に関する変更を求められた場合、学実委と協議の上、企画内容を再検討する必要がある
- ☐ 大学から承認されるまで、企画の宣伝活動(p.24-25 参照)を行うことはできない
  - ※ 宣伝活動を行う場合、学実委への申請・学実委からの許可が必要
- ☐ 企画内容によっては詳細な企画書の提出を求める場合がある

### プライバシーポリシー

学実委では提出していただいた個人情報を、第三者に漏えいすることのないよう厳重に保管します。また、個人情報は企画責任者・副企画責任者の事前の了承なく以下の目的以外で使用しません。

- ☐ 学園祭の実施に関わる学実委からの連絡・調整
- ☐ 全代会及び大学に提出する計画書の作成
- ☐ 個人・企画団体が特定できない形式での統計的資料等の作成

なお、以上の目的に必要な範囲で、企画登録時に提出していただいた企画責任者・副企画責任者の氏名・所属等の個人情報を本人に照会する場合があります。

また、以下のいずれかに該当する場合、企画責任者・副企画責任者の個人情報を第三者に開示することがあります。

- ☐ 学実委が全代会及び大学に計画書を提出する場合
- ☐ 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合
- ☐ 大学側から学則に基づく要請を受けた場合

なお、全代会及び大学に対しては個人情報を厳重な管理体制のもとで保持し、以上に規定した目的以外の使用・開示は行わないよう要請します。

## 13. 雙峰祭オンラインシステム

雙峰祭オンラインシステムとは、学実委と企画団体との間での各種申請・連絡を円滑に進めるための Web システムです。企画責任者・副企画責任者の連絡先等の情報は、必要以上に学実委の担当者にも開示されることはありません。

全ての申請は原則このシステム上で行われます。企画責任者・副企画責任者は必ず本システムにご登録ください。

### 登録方法

雙峰祭オンラインシステムへの登録は、お手持ちのパソコン・タブレット端末・スマートフォン等 Web ブラウザがご利用可能な端末上から行うことができます。

以下の URL または QR コードから指定の Web ページにアクセスするか、雙峰祭公式 Web サイトの「企画・学内の方へ 雙峰祭オンラインシステム」のリンクをクリックしてください。

**<http://www.sohosai.tsukuba.ac.jp/sos/>**



表示されたページの案内に従い、必要事項を入力してご登録ください。

blackberry 端末やフィーチャーフォンのフルブラウザ(PC ブラウザ)等の一部端末では正常に動作しないことがあります。その場合、他の端末や全学計算機の使用をご検討ください。Web ブラウザの操作方法は端末の製造元にお問い合わせください。

## アカウント作成時の注意事項

昨年度の学園祭にてアカウント登録を行った方も、再度ご登録いただく必要があります。

企画責任者と副企画責任者はそれぞれ別のアカウントを作成する必要があります。**同じアカウントを複数人で共有することはできません。**

## 登録時のメールアドレス

雙峰祭オンラインシステムは、本学の学生・教職員向けの Web システムです。学内者であることを確認するために、登録の際に入力するメールアドレスは **tsukuba.ac.jp** で終わるメールアドレスのみに限定されています。大学のメールアドレスでご登録ください。

なお、@u.tsukuba.ac.jp や@s.tsukuba.ac.jp の他に学類独自のメールアドレス等をお持ちの場合、それらのメールアドレスで登録することもできます。また、登録完了後にメールアドレスを変更する場合、tsukuba.ac.jp 以外のメールアドレスをお使いいただけません。登録メールアドレスには重要な連絡をすることがあります。重要な連絡を見落とすことのないよう、普段学内メールを見られない方は登録完了後に普段から確認するメールアドレスへの変更をご検討ください。

## お問い合わせ先

雙峰祭オンラインシステムについて、質問等がありましたら裏表紙のメールアドレスへお問い合わせください。